

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか		○		職員配置基準は満たしているが、基準通りでは、個々の活動を丁寧に保障することが難しい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		利用児の活動に支障のないレベルまでバリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			社会福祉法人恵の実のホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	評議員会による事業評価、第三者委員による苦情受付は行っているが、第三者評価は未実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		法人内研修の実施や、外部研修への参加を取り入れているが、研修の情報が少なく、計画的な積み上げが必要である。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にあセスメントを行い、支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたツールはない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週、職員会議を行い、活動の振り返りと併せ、次週の計画を作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節毎、伝統行事を取り入れた活動を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動による「個の充実」と交流保育による「集団での経験」を組み合わせた活動を計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、一日の活動、送迎等の確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後は、保護者対応等で、職員全員が集まらないことが多いが、利用児の様子で気になる点は、メール等で共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の療育記録、業務日誌を記録し、支援の検証・改善につなげている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回以上、モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者や担当職員が参加し、利用児の状況を共有できるようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校訪問や電話連絡により、利用児の様子を共有し、保護者にも対応を伝えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		該当する利用児がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			担当職員より療育情報や利用児や保護者の情報を引き継ぎ、円滑な移行できるよう努力している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			放課後等デイサービスの利用を終了する利用児に、保育所等訪問事業等に、支援内容を提供し、支援につなげている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		該当無し
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			小学生との交流保育を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		放課後等デイサービス事業所の連絡会に入っているため、今後活用したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃の利用児の様子はできる限り、保護者に伝えているが、お迎えの時間が限られているため、夜間の連絡になったり、職員の負担が大きい。 共有の方法を改善していきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			利用児の障がい特性を説明し、家庭での対応方法をアドバイスしている。	
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に書面と口頭により説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			できる限り保護者からの相談に応じ、職員からも声をかけるよう留意している。面談予約等で落ち着いて時間を確保できるよう改善している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			茶話会や学習会、保育説明会を開催しているが、保護者同士の相互理解につながる活動がもっと必要である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者へ苦情受付・解決責任者を周知し、苦情受付ができるよう体制を取っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		活動毎に持ち物や内容のお知らせはしているが、定期的な会報は発行していない。利用児の様子で共有したい情報は、都度、電話やメール等で保護者にお伝えするようになっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭だけでなく、書面や映像(写真)で伝えるよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			社会福祉法人全体の取り組みとして、運動会や夏祭りに地域住民を招待して交流を図っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルはあるが、保護者へ周知していない。活動説明会等で周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施しているが、保護者への周知や報告が不足していた。今後は学期始め等に年間計画を周知する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		管理者は研修を受講しているが、全職員が研修を受けられるよう計画する。
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束を検討するような利用児はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーのある利用児はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットは都度報告書をあげ、職員会議等で周知・改善策を検討している。